

# 会 議 記 録

下伊那南部建設事務所

件 名	第8回「遠山郷いい川づくり」推進会議	前回(第7回) 平成28年6月22日
年月日	平成29年3月1日(水) 18:30～19:40	
場所	飯田市南信濃自治振興センター	
出席者	「遠山郷いい川づくり」会議：委員・オブザーバー：別紙出欠表参照 報道機関：別紙出欠表参照  事務局：下伊那南部建設事務所 木下整備第一係長、片桐  モニタリング調査業務受注者：株式会社協同コンサル 中村氏、宮坂氏	
傍聴者 報道 他	別紙参加者一覧参照	
配付 資料	別紙添付資料	
会議の 概要	平成28年度活動内容や工事の進捗状況及びモニタリング調査結果について報告し、平成29年度の予定について提案した。 また、河川愛護活動としての草刈り作業の実施について意見交換を行い、地域としてどのように取り組んでいくのか、今後各区で日程調整を行い、参加者が多く集まる日曜に合同開催とするよう調整する運びとなった。	
打 合 せ 結 果	1 あいさつ 〈「遠山郷いい川づくり」推進会議 会長〉 ・平成25年度の遠山中学校前の工事から始まり、本年度は河川の草刈りやかぐら大橋上流右岸側の工事や現場見学会を行った。 ・事業が後半に進んでいる。今後の草刈り活動についても皆さんと相談していければと思う。	
	2 平成 28 年度活動報告、工事の進捗状況について(建設事務所) ・今年度のいい川づくりモデル事業(モニタリング調査、河川愛護活動、工事、現地見学会)を説明。	
	3 平成 28 年度 モニタリング調査結果について(協同コンサル) ・各調査項目について、具体的な調査結果を説明。	
	4 平成 29 年度 活動計画(案)について(建設事務所) ・来年度工事の施工箇所、発注時期、工事期間等について現地研修会開催予定を含めて説明。  ・河川愛護活動について、平成 29 年度はどのように行うか(日程、地区合同で行うか等)問いかけを行った。	

5 その他〈質問・意見・要望等〉

～モニタリング調査について～

A氏)

かぐらの湯前の帯工について、コンクリートを使って強固なものとしてほしい。

会長)

遠山中学校前の帯工について、ワイヤーが切れている状態である。親水性を持つはずのものが子供達の危険な場所となっている。今後補修の際に安全な形にしてもらえるとありがたい。

建設事務所)

補修方法については来年度検討したい。

～河川愛護活動について～

建設事務所)

本年度は第7回の「遠山郷いい川づくり」推進会議で橋南地区と日程調整を行う事ができ、かぐら大橋上流左岸部を実施した。

来年度からは地元主体となって草刈りを実施していければと思うが、今年度の活動を行ってみて意見や感想はあるか。

B氏)

今年度の草刈りは平日に実施したため、人が集まらなかった。

日曜に草刈りを行えば、参加者が多く集まるのではないか。

道の駅側の夜川瀬地区も一緒に実施してはどうか。

橋南区としては、日曜実施で構わない。

建設事務所)

橋南区、橋北区合同で同日開催というのはどうか。

会長)

遠山川はみんなの財産である。地域一体となってやるのが目標である。

草刈り範囲を地区で分けるのではなく、他団体にも呼びかけ、会議でまとめていくことがいいのではないか。

B氏)

人数が多く参加できる日曜がいいのではないか。

C氏)

他区の草刈り日程を精査しなければならない。

会長)

平成29年度には役員が替わる。役員が替わるといい川づくり事業がうまく引継ぎが出来ず、認識不足となる可能性がある。役員が替わり、落ち着いた段階で推進会議を開き、いい川づくり事業を改めて認識する意味で行ってもらいたい。時期は4月後半～5月前半がいいのではないか。

D氏)

橋北区は7月に2回草刈りを行っている。推進会議の趣旨を伝えるため、年度が変わったら推進会議をやってもらえるとありがたい。

C氏)

地区をまとめていくのは誰がやるのか。

会長)

会長がまとめていく。

早い段階で調整をしていく必要がある。

A氏)

「橋北」や「橋南」等分断する発想がおかしい。遠山川はみんなのものであり、地域一体となってやってほしい。

6 閉会（建設事務所）

様々な意見をいただいた。

全県に「いい川づくり」事業はいくつかあるが、ここまで地域で一体となって活動している箇所はない。

今後地元で一体となって活動できるよう、県も協力したい。

<今後の方針>

- ・新年度地元役員に替わり次第、草刈り日時について事務局と調整を行う(4月)。
- ・あわせて例年行っている推進会議を早めに実施する。(GW明け頃)